



からしだね

キリストの受難

カトリック池田教会

共同宣教司牧：畠 基幸 神父・中村克徳 神父

協力司祭：デニス・マックゴワン 神父

住所：〒563-0041 池田市満寿美町9-26

TEL：072-751-2400 FAX：072-753-4624

URL(ホームページ)：

http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/

2016年

8-9月号(519号)



司祭叙階時の松本一宏神父

祈り 子供たちのために、涙は愛しみの泉となるように	2	マニラのこどもたちが感謝しています	6
松本一宏神父への弔辞	3	8月のガラスケースのことば	6
松本一宏神父ご帰天	4	アルファ・コースが始まりました	7
葬儀ミサにおける説教	4	池田・日生合同黙想会のお知らせ	7
松本一宏神父の略歴	5	新PC(カール記念館2階)を使う	8
松本神父のからしだね・巻頭言の執筆歴	5	黙想会のお知らせ 宝塚黙想の家から	9
初めまして 中村克徳 神父です	6		

※ 聖堂入り口で配布しているものからの抜粋版です。

完全版(10ページ)をご希望の方は、お近くの広報委員までお問い合わせください。

祈り

子供たちのために、涙は愛しみの泉となるように

畠 基幸 神父

みことばが地に落ちて、多くの実を結びますように、「聖なる父よ、あなたは人類の救いのために御ひとり子が十字架を担うようにお定めになりました。わたしたちも十字架の神秘を受け入れ、永遠にその勝利にあずかることができますように。」

アーメン。

「皆さんに説明するとあまりにも悲しくなるから黙っていて欲しい。」十字架のパウロ松本一宏神父は、もう手おくれだという検査の結果をゆっくり静かに話した。今後の計画や会の人事のことを相談した。幼稚園の関係者やお父さんにも病気のことを話すことも告げた。それから松本神父は鉄の壁の中に入ったかのように、わたしの視界からは消えてしまった。一月後、みこころの祝日に彼の入院する病院をネットで探して訪れ、病室の彼に会った。とても血色がよく抗がん剤の一サイクルも終わったところで、落ち着いていたので、効果あったようだねと聞くと、「あちこち痛いよ、腹水もあるし」と言いながら明るい顔で笑顔だった。

この日病院を訪問しなければと決意して面会できたのは、恵みだった。ちょうど昨年のみこころの祝日にわたしは教皇様の祝福を受けののだが、これは松本神父のおかげで、彼の許可書がなければ、そもそもローマにも行けなかった。イエス様のみ心をお願いして病気を癒していただく。こうして病気が恵みの泉となるように「病者の塗油の秘跡」を授けた。イエスのみ心から血と水が流れ出たように愛(いつく)しみの泉が神父から流れ出るように祈った。黙ってくれと言ったが、事の重大さのためにわたしはハイと答えなかった。聞いたその夜には、総長にメールをして、翌朝逐次報告するようにという命令を受けていた。

だから、この「み心の祝日」に、松本神父には、総長も総長顧問会も外部には漏らさず、皆、病気の君のことを知って、心にとめて苦しみを共にして祈り続けていることを知らせた。彼の眼は、大きく光ったように思う。海外の共通の友人の話をしばらくした後、何かわたしにできることはないのかと聞くと、何もないと答えたので、すごく寂しく感じた。どうして皆に伝えて欲しくないのかと聞くと、自分の悲しみを味わって欲しくないと言って口をつぐんでしまった。その後、同じ病院の受付に行くと、そのお名

前の方は入院患者におりませんと断られた。ごく短い漏れ聞く情報しか入らず、6月の半ばに、手術を受け、病院から退院し、何とか病気を抱えながらも日常に戻るようなニュースに目を見張った。教会の皆様へ報告したのですが、すぐに総長にも報告した。とても喜んでおられた。しかし、総長は、アイルランド、メキシコの公式訪問中も、ずっと松本神父のことは心に留めて祈っているし、これからも引き続き祈りをすると力づけてくださった。

松本神父は、小さな子供たちのことを考えていたのだと思う。子供たちが傷つくことを何よりも恐れたのだと思う。自分が去っていくことを知らせてほしくなかった。幼稚園の園児たちを牧者のいない羊のようにしてはいけない。ずっと見守り続けたい。体の不調を何度も感じていたが、いよいよ悪くなるまで、一度も病院には行かなかった。子供たちと共にいるときは別人のように顔が輝いていた。デニス神父やわたしが一緒にいるときは、まったく無口で大人しくしていた。叙階されて直後に赴任してきたとき、幼稚園のシスターから会計を任されて、慣れない会計の処理と給与計算のためにほとんど部屋から出ないで頑張っていた。将来の園長さんだということで、始めから幼稚園の仕事に携わった。黙々と不平不満を言わず頑張っていた。デニス神父やわたしからは何も学ぶことがなかったからか、聞きたいことがあっても、ほとんどは独自に考え、考えたことを実行した。意志が強く、はっきりとした修道生活の理想を持ち、それを現実化しようと歩んでいた。子供たちに寄り添い、いつも共にいることを心がけた。しかも、押し付けることはなかった。大きな眼で笑い、所持品や食事、衣服に頓着せず、歯はあまりよくなかったので、ゆっくり噛んで食べてた。それがずいぶんと魅力だった。大きな目、大きな口、大きな顔、そして、寛容で、真剣に相手のことを思いやる心が素晴らしかった。

次に会えたのは、修道院に戻って来てからだ。米国から黙想会指導のために来日したマカレア神父を修室に案内した。神父はルアンダ政府からフチ族ツチ族和解の祭儀のために招かれたことがあるほどの心のいやしの奉仕で定評がある方で、わたしは信頼して案内したのだった。神父が祝福の油を

注いだ後、二人は大きな目で見つめ合って笑顔で握手し合った。わたしは、主の恵みが注がれるように、あわよば奇跡が行われるようにと願い、まだ奇跡を信じていると松本神父に声をかけました。彼は笑顔だった。何もわたしのことを怒っていないことが分かりました。一週間後、わたしは彼に、奇跡を願ったが聞かれないようだ。でも、司祭職を全うするように願う祈りは聞かれるはずだ、とメールしました。

7月11日、賛美の祈り会を黙想の家の会議室でして、松本神父のいやしのために祈りました。終わって帰る時、山内神父が、医者が点滴を外したので後一週間の命だと慌てて話して修室に入ったので、わたしは総長と米国の管区長にメールするために教会に帰り、余命一週間になったことを告げた。このメールは世界中を回り、そして、翌朝、そのメールが全管区に行きわたらないうちに、松本神父の帰天のニュースを通夜の時間と葬儀の時間と共にお知らせすることになった。折しも総長と顧問6名がローマに集まっている時で、全員で希望の聖母の祭壇でミサがささげられました。これは、天の門への凱旋のラッパのようです。

御受難会の悲しみの聖母の聖ガブリエルで知られる管区のマルコ神父が、「会員の死はいつも尊敬に値するが、あまりにも若い司祭や修道者の死は特別に心悼むものがあり、皆様の悲しみと共にあります。しかし、一方で若い修道者や司祭の未完の死は、彼らがすべき業を天で執り成す、つまりイエスと共にあって執り成すので多くの奇跡的な恵みが注がれることが期待できることを知って欲しい。」と弔問のメールを送ってきました。

その最初のしるしは、通夜も葬儀も大雨の予想が外れ、参列した人を守ってくれたように思います。これは天にいる松本神父さんらしいなと思うと、大粒の雨が葬祭所へ行く途中降りました。涙雨だろうな、でも、それは一時のことでした。子供たちの大きな涙が、いつか大きな希望を抱く力となるように、松本神父は天で大きな司祭職を果たしてくれたいと思います。もう悲しい思いをしないように、これからは奇跡だと思えるような取り次ぎをしてくれると信じます。

(完)

松本一宏神父への弔辞

カトリック池田・日生中央両教会の信徒を代表し、十字架のパウロ松本一宏神父様のご霊前にお別れの言葉を申し上げます。

神父様と初めて出会ったのは、私達家族が池田教会に移った後の日曜学校の夏季キャンプでした。神父様はまだ神学生の頃でした。神父様の印象は明るくて優しく子供たちの人気者でした。その後、中村神父様と山内神父様と若手司祭三人組の叙階式と初ミサを経て、神父様の活躍を見守りました。

聖書のみ言葉です。「わたしにとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利益なのです。」(フィリピの信徒への手紙1・21)これはまさに神父様の生き方と死に方に実現されたみ言葉です。

神父様は、私達、池田・日生中央教会の信徒たちにとって素晴らしい牧者でした。こんなにたくさん賜物を持っている方がすべてを神様に捧げて、しかもこんな小さな人々のために働いたことは、今の世の中では奇跡的なことで、心から感謝しています。

神父様は修道会、幼稚園、教会などあらゆる場所で、キリストのように笑顔と優しい心で人を助けるためになんでも挑戦した方です。

神父様が病気になられたのと帰天された間があまり短くて皆驚いています。神父様の最後は、あなたとご受難会の十字架の聖パウロが呼びかけたように、十字架上のキリストと同じようにとても苦しくてつらかったことと思います。最後に会ったとき、病床の神父様が私の手を一生懸命握ったことを忘れられません。

神父様が先に天国に呼ばれて、しばらく別れることがとても寂しいですが、神父様は私たちが理解できないこの地上よりもっと大事な役に召されました。私達は神父様に見習ってイエス・キリストに仕え、また神父様に会えるように生きていきたいと思えます。

地上でキリストのように生き、天国への道を歩めるように私達のためにお祈り下さい。

池田教会信徒代表 マイヤーデイビッド

この文は松本一宏神父様の葬儀ミサ(7/14)において池田教会と日生中央教会の信徒を代表して述べられた「お別れの言葉」を文書化したものです。

松本一宏神父ご帰天



7月12日午前3時に、十字架の聖パウロ松本一宏神父が帰天されました。享年43歳。その若さを思うとき、悔しさがこみ上げてくるのを止めることができません。無念です。池田教会では、4月24日の主日に御ミサの司式をなさったのが最後となりました。

松本一宏神父は池田教会にとっては、唯一の生え抜きの神父でした。幼い頃から池田教会になじみ、御受難修道会のウオード神父やデニス神父、それに国井神父のもとで神父への道を歩まれ、司祭叙階後は池田教会と日生中央教会の共同宣教司牧メンバーとして現教皇フランシスコのお言葉を借りれば、愛を明かす具体的な現実（優しさと共感、寛大さ、ゆるし）で以って信徒、特に未来を背負う子どもや青年たちを導かれました。また、御受難修道会日本準管区長として、御受難会を受け継ぐ方のお一人でした。

7月13日に、山内十束神父の司式、畠基幸

神父の先唱で、お通夜が営まれました。山内神父からは最後の日々のご様子として、4月28日に病名が確定したこと、消化器癌の手術後は、山内神父を中心とした介護のもと、宝塚御受難修道院という「おうち」で過ごされたことが明かされました。お通夜には大勢の神父さまがたや、松本神父を悼む人々が集い、カール記念館まで人があふれました。

翌14日午後、前田万葉大司教の司式により、御受難会や大阪司教区の神父が多数列席なさる中、立錫の余地もない聖堂で盛大な葬儀ミサが執り行われました。御受難修道会のウオード神父の暖かく、心に響くお説教のあと、池田教会と日生中央教会の信徒を代表して、マイヤーディビッド氏が最後に別れの言葉を述べました。今、ご遺骨の一部は池田教会の納骨堂に収められています。

葬儀ミサにおけるウオード神父の説教

「わたしは生きている」と松本一宏神父様はわたしたちに仰ると思います。「わたしは生きている、いや、わたしではなく、キリストがわたしの内に生きていらっしゃる（ガラテヤ2章20節）」と。

松本一宏様の生涯はわたしたちにとってあまりにも短かった。

しかし、神様の考えはわたしたちの考えと違います。わたしたちは神様を信頼いたします。

今から暫くの間、松本神父様がわたしたちに遺された遺産、かれの模範、かれの徳を偲びながら、思いを巡らしましょう。

わたしが、ある日、自分の部屋のファイルを片付けていると、一つの証明書が出てきました。そこには、松本一宏が1973年2月8日に生まれたと書いてありました。ご両親は善一さんと裕子さんです。洗礼はその7年後の1980年。霊名は御受難会の創立者「十字架の聖パウロ」でした。どうして、わたしのファイルにその証明書が入っていたのか分かりません。わたしはその頃一宏君を知らなかったし、松本家も知らなかった。

その後、故郷の埼玉に家族が戻ってから、一宏君を知るようになりました。その時、一宏君は大学生でした。大学の2年生だったと思いますが、お母さんは心配していました。何故かと言うと、息子さんにとって大学生活は面白くない毎日だったから。お母さんは心配して御受難会のクレメント神父様にアドバイスを求めました。そして、東京のみこばの家を紹介されました。その日から毎週水曜日に一宏君とわたしは聖マルコの福音書を読んで分かち合いました。毎週水曜日にかれは必ずやってきました。福音書を読んでいるうちに、イエズ様と新たに出会ったと思います。その時から、かれは真剣に自分の将来を識別しようとなさいました。かれは福音書を読みながらイエズ様の声を聞きました。「わたしに従いなさい。あなたをわたしは人間をとる漁師にします。(マルコ1章17節)」



葬儀ミサでお説教するウワード神父



お通夜で司式する
山内十束神父

一宏君はその時からいろんな東京の若者の黙想会に与り、黙想会を指導するチームにも入りました。その中で、もう一つの大事な出会いがありました。ついに十字架のイエズ様と新たに出会ったのです。黙想会の指導チームの一員となって、黙想者を十字架の道行に案内なさいました。その間に、イエズ様の御声が彼の心の内にこだましました。

わたしたちの教皇様フランシスコが回勅に書かれておられるように、わたしたちの良心の心に聖霊は働いておられ、わたしたちを導いて下さいます。一宏君は一所懸命に聖霊の導きを読み取ろうとなさいました。かれは祈りのうちに知ったのです、イエズ様に従うこと、イエズ様の協力者になることは、どれほど深い意義のあることか、どれほど意味深い召命であることか、どれほど美しい召命であることか、イエズ様に協力することは人類の救いのために協力することなのだ、と、ああ！

一宏君は忠実に自分の召命、自分の役割を果たされました。わたしたちは、かれの生涯はあまりにも短かったと感ずいます。悲しいことです。

しかし、神様の考えはわたしたちの考えと違います。その計らいを信頼いたしましょう。

かれに取次を頼みます。残されたわたしたち、かれの兄弟のために祈ってくれるように！

松本一宏神父様の略歴

1973年2月 8日 埼玉県浦和市に生まれる
1980年4月 5日 池田教会にて受洗
2000年3月13日 初誓願
2003年3月 9日 終生誓願
2005年3月 6日 司祭叙階
2005年3月～8月 池田教会協力司祭

2006年3月～8月 池田教会・日生中央教会
共同宣教協力司牧

2007年2月～ 池田教会・日生中央教会
共同宣教司牧チームメンバー

2010年12月～御受難修道会日本準管区長

松本一宏神父様のからしだね 巻頭言の執筆歴

2012年 4月号 「立とうね」

2012年8・9月号 「信仰の学び」

2014年11月号 「御受難会韓国管区創立
50周年に参加して」

2014年 7月号 「国井神父さまの金祝」

2015年 5月号 「多様なカトリック教会」

2015年8・9月号 「熱い信仰」

2015年12月号 「宝塚黙想の家」

2016年 3月号 「神さまのいつくしみ」

初めまして 中村克徳 神父です

池田教会の皆さま、松本神父様の突然の帰天に大きなショックを受けておられることと思います。私もその一人です。なぜ？と神様に問い掛けたい気持が胸をよぎりますが、答えが与えられるまでには時間が掛かりそうです。私たちは松本神父様の笑顔、あたたかさを手本とし、日々の信仰の歩みを続けていきましょう。いつか再び笑顔の松本神父様と会えることを祈りながら。

さて、7月より、共同宣教司牧の一員として池田・日生中央教会を担当することになりました。簡単に略歴をお知らせいたします。

北海道稚内市に近い小さな町で生まれました。25歳のときに東京の三軒茶屋教会にて受洗。御受難会との出会いは、29歳の時に教会の友人から紹介されたのがきっかけです。当時は会社勤めをしていましたが、一年ほど東京のみことばの家（東京修道院）に共住者として滞在させてもらい、祈りの生活を体験することができました。毎朝6時からの沈黙の祈りと教会の祈り、ごミサへと続く一連の祈りのスケジュールに馴染むには少し時間がかかりましたが、修道生活の喜びと大切さをほんの一部でも味わうことができたのは、後の入会への布石になっていると思います。

1997年6月に志願者、1999年に松本神父様、山内神父様と共に修練に入り、2000年に初誓願を宣立。覚えておられる方も多いと思いますが、2003年に池田教会で三人一緒に終生誓願を宣立しました。その後助祭叙階を経て、2005年3月に東京カテドラルにて司祭叙階の恵みをいただきました。叙階後は4年間ほど東京教区の教会で働き、2012年より福岡にある宗像修道院の所属となりました。

関西は何度も来ていますが、司祭として働くのは初めてです。こちらの習慣や気候に慣れるまで少し時間が掛かるでしょうが、出来ることから積極的に働いていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

マニラの子どもたちが 感謝しています

7月3日の主日に、マニラから聖母被昇天修道会のシスター・レメディオスが池田教会を訪れ、池田教会の方がたが奨学金を長年マニラに送り続けていることへ感謝の意を表されました。

フィリピンの子どもたちに学資を援助する、この企てはもう30年間も続いており、一口500円で、数十人の方が今なお毎月献金をしています。奨学金を贈る相手は、シスター・レメディオスがお決めになります。当初は貧しいマニラの女子学生が対象でしたが、今は、母親が日本で出会った日本人男性、あるいはマニラを訪れた日本人男性を父に持つ、母子家庭の子どもです。父親の居所もわからず、貧しい生活を余儀なくされ、しかも成績が優秀な学生一名（場合によっては二名）に、大学の授業料が全額与えられます。すでに30人ほどが奨学金を受けました。卒業した暁には、多くの場合、専門的な職業について自分の社会的地位を上げ、母親や家族を養えるようになります。奨学金を受けた学生の一人、医療技術大4年生のクリスティナ・アズマさんはインターン研修中の写真を添えて感謝の手紙を送って来ました。このように成果の見える形で援助ができるのは、ほんとうに嬉しいことです。これからもできる限り長く続けていきたい援助です。

関心を持ってくださる方は社会活動委員会の島上までご連絡ください。



社会活動委員会

8月のガラスケースのことば

苦難は忍耐を生み、忍耐は試練にみがかれた徳を生み、
その徳は希望を生み出す

アルファ・コースが始まりました

アルファ・コースも今年で9年目を迎えることになりました。そこで、今年は、年齢に関係なく、どなたでも参加できるフリー・スクールとして開講することになりました。

イエスとは？、キリスト教とは？、聖霊とは？
原点に戻って謙虚に学び直すことは私達にとって非常に大切なことではないかと考えます(知らなかつたこと、忘れていたこともニッキー・ガンベル牧師が制作したDVDの教えの中には一杯あります)。また、Sr.渡辺和子の「キリストの香り」のDVD(全24話)及び井上博嗣神父の「聖書に学ぶ」のDVD(全16話)は、人間として大切なことを教えてくれる最適の教材です。

DVDを見、お茶を飲みながら感想を話し合ったり、互いの人生経験を語り合ったりするざつぱらんな分かち合いも、お互いの人生観を高め、少しでも心豊かに成長させてくれるものと確信します。ご家族の中で、或いはお友達でイエスさまについてあまりご存知でない方、勉強してみたいと思われる方がおられましたら是非、呼びかけてください。

夏休み、正月休み等も設けております。人生にとってはほんの一時ですが、皆さんと親しくお付き合いができればそれ以上に嬉しいことはございません。

- 開催日：平成28年7月以降の原則として第1、第3土曜日(年間DVD鑑賞スケジュール参照)
- 時間：AM10:00 - PM 1:00
- 場所：池田教会、カール記念館1階集会室
- 会費：500円(昼食代を含む)

アルファ・コースのタイム・スケジュール

- 10:00 ~ 10:10 コーヒーで喉を潤して、
テーマ曲(Walk in the light)を全員で。
- 10:10 ~ 10:25 DVD鑑賞(1部)
Sr.渡辺和子 「キリストの香り」(DVD)、
井上博嗣神父「聖書に学ぶ」(DVD)
- 10:25 ~ 10:30 休憩
- 10:30 ~ 11:15 DVD鑑賞(2部)
「アルファ・コース」(DVD)
- 11:15 ~ 11:20 休憩
- 11:20 ~ 12:20 分かち合い
- 12:20 ~ 13:00 食事と歓談

平成28年度の年間DVD鑑賞スケジュール

No	月	日	部	
1.	7	16	1	いつも喜んでいなさい
			2	キリスト教とは？
2.	7	30	1	絶えず祈りなさい
			2	イエスとは？
3.	9	3	1	どんなことにも感謝しなさい
			2	イエスの死とは？
4.	9	17	1	人生の穴と向き合う
			2	確かに信じるには？
5.	10	1	1	置かれたところで咲く
			2	聖書を読むには？
6.	10	22	1	ごたいせつの愛
			2	神に祈るとは？
7.	11	5	1	真のやさしさ
			2	神の導きとは？
8.	11	19	1	自分を愛するという事
			2	聖霊とは？
9.	12	3	1	一人一人の魂への愛
			2	聖霊の働きとは？
10.	12	17	1	ほほえみの力
			2	聖霊に満たされるとは？
11.	1	21	1	「赦し」
			2	悪に対抗するには？
12.	2	4	1	「小さな死」
			2	イエスを伝えるとは？
13.	2	18	1	「ていねいに生きる」
			2	神の癒しとは？
14.	3	4	1	「善き死のために」
			2	教会とは？
15.	3	18	1	「クリスマスの心」
			2	人生を最高に生ききるには？

平成29年4月以降は29年度にお知らせします。
福音宣教委員会

池田教会・日生中央教会 合同黙想会のお知らせ

日 時：9月20日(火) 9時～16時30分(暫定)
場 所：宝塚黙想の家
講 師：甲子園教会 松本武三 神父

なお、第3回「大人の日曜学校」は9月4日に開催します。

研修委員会

新PC(カール記念館2階)を使う

カール記念館2階の事務室にある10年近く使われてきた旧シャープ製のノートパソコンの1台が遂にクラッシュしました。

6月末に新調されたのは廉価のデスクトップ型パソコンでディスプレイは明るく、19インチの大きさのために文字フォントを拡大すれば、老眼の方も見やすくなりました。OSはマイクロソフト社のWindows10ですので、従来のWindows7に近い操作性があります。使用に際しては次の5点を確認してください。

1. アカウントの選択:評議会の役員や常設委員会委員は従来通りにパスワードを記入してサイン・インを行って、ランディスクやドキュメントに保存しているファイルにアクセスしてください。あるいは、ネットのブラウザやファイル作成ソフト、メーラー、アプリの選択を行ってください。常設委員会のパスワードは委員長にお尋ねください。

2. ファイル作成:通称Officeソフトはマイクロソフト社(MS)製のOfficeと互換性がある無料ソフトLibreOfficeとがインストールされています。文書作成、表計算、プレゼンテーション、絵描き、数式、データ・ベースの機能の一つを選択して文書・表・ファイルや図・数式ファイルを作成できます。

3. 印刷:コニカ・ミノルタ製プリンター(白黒)やエプソンのプリンター(カラー)とは無線または有線で接続されています。前者はレンタル契約ですから、使用した場合は印刷ページ数の合計数(使用用紙の枚数ではない)を「使用ノート」に記入してください。

印刷する原稿のファイルはレイアウトや図、フォントの印刷精度の高いpdfファイルを用いると精細できれいな印刷が可能です。このPCのMS社製OfficeであれLibreOfficeのどの文章や表の作成ソフトを用いても、別の(自宅の)PCでどのファイル作成ソフトを用いたにせよ、最後にファイルを保存する際にpdfファイルと指定すれば、**容易にpdfファイルが作成できます**。それを、本PCで読み込んで、印刷を指定し、使用する印刷機の電源とインクが入っていることを確認して、用紙のサイズ・印刷枚数・片面か両面か、白黒かカラーかななどを指定します。

4. 永年保存ファイルの閲覧:PCにラン接続したランディスクには評議会フォルダーには永年保存のデジタル化した文書ファイルがあります。その中で「池田

教会共有」と書かれたフォルダーのサブ・フォルダーには評議会議長団や各委員会が他の委員会などが閲覧したり、印刷するのが可能な文書ファイル(評議会規定と、評議会内規、評議会議事録、各委員会へ提出する文書のフォーマットなど)を入れています。例えば、書記さんに提出する文書のフォーマットを選択して、プリンターで印刷して、書き込んでから書記へ提出することができます。但し、サブ・ホルダーにある文書ファイルに書き込みは固く禁止されています。

5. pdfファイルを読むソフトのインストールの方法:印刷原稿のpdfファイルや「からしだね」pdfファイルを読むソフトは本PCにインストールされています。ここでは、自宅のPCなどにAdobe社の「pdfファイルを読むソフト」を無料でWebからダウンロードして、インストールする方法を記します。

まず、Adobe Reader 11.0.10 Japanese for Windowsというフリー・ソフトをwebからダウンロードする手順を紹介いたします。手順は次の7段階です。

①webを開き、<https://get.adobe.com/jp/reader/othersversions/>に入りましょう。入り方はCtrlを押さえて、上のアドレスを左クリックしてください。

②Adobe Acrobat Reader DCのウインドウが開きます。文字が小さければ右端の⊙をクリックして、150%に拡大しましょう。

③手順1でWindows 7を選択します。

④手順2でJapaneseを選択します。

⑤手順3でReader DC2015.016,20039 Japanese for Windowsを選択します。

⑥提供オプションの全てのチェックを外す。(Googleをインストールする必要はありません)

⑦今すぐダウンロードをクリックします。数分後にAdobe Reader 11.0.10 Japanese for Windowsのインストールが終了します。赤色のAdobe Readerのアイコンがデスクトップに出現します。

広報委員会

黙想会のお知らせ 宝塚黙想の家から**■日帰り黙想会**

8月は休みです。

9月22日(木) 10:00 ~ 15:30

指導:山内十束神父

9月23日(金) 10:00 ~ 15:30

指導:山内十束神父

**■週末黙想会**

8月は休みです。

9月24日(土) 17:00 ~ 25日(日) 15:30

指導:山内十束神父

各黙想会、費用等のお問い合わせは
「宝塚黙想の家」まで。☎0797(84)3111

編集後記

松本神父さまの通夜で山内神父さまが語られたことで、とりわけ心に残った言葉を記したいと思います。

松本神父様とわたしの二人で決めたことのひとつ。病人として亡くなりたくない。病院で80点の残りの人生を送るのか、一瞬でも100点を取りにいくなのか。そして修道院に、家に、帰るのを決断をした。

彼は何もしゃべらないけれど、この人は何者なんだろうかと訪問介護士らは思ったでしょう。彼の内にキリストを顕したと思う。宣教とはこういうことだと思う。

最後のとき、本当に悲しかった。ゼイゼイ息を吐く音もなくなり、シーンとして、でもそこは何かにつつまれているようだった。最後の一瞬は聖書の1ページだった。

彼はこの世から姿を消したけれど、大事なものをのこしてくれた。宝として心にきざみつけておくのか、忘れてしまうのか。悲しみの時でもあなたがたは幸いなのだ。

神に感謝。

百日草